



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



令和7年6月18日号 文責 上久木田 雄二



カスタマーハラスメント

1年位前だったと思います。通っているスポーツジムの掲示板に、「施設のカスタマーハラスメントへの対応」に関する文書を見つけました。

気にはなっていたものの、じっくり読むことはありませんでしたが、先日掲示文書のすべてに目を通しました。

「脅迫・中傷・名誉棄損・侮辱・暴言行為・差別的な行為・性的な言動」については、ハラスメントとして認識されやすいという感想を持ちました。

「インターネット上の誹謗中傷」が、ハラスメント行為に該当することは、広く知れ渡っています。

それ以外にも、

- 執拗に同じ要望やクレームを繰り返すこと
- 個人に対する攻撃または謝罪・処罰を要求すること
- 社会通念に照らして相当な範囲を超える行為・要求

等が例として挙げられています。

学校の立場でカスタマーハラスメントを論じた記事を私は読んだことがあります。

せん。どなたかご存じでしたら教えてください。

私は、スポーツクラブの文書を読みながら、自分事として考えてみました。

学校は、子どもたちの学校生活の中の課題やトラブルを保護者にお知らせする責務があることは、以前も書きました。

確かに、複数回続けて電話を差し上げることもあったと思います。

同じような要望を繰り返すことがハラスメントなら、学校は保護者と話し合うことができなくなるように思うのです。

学校が考えなければならないのは、子どもたちのことです。子どもたちの成長や未来のことです。

学校は、保護者のしつけや家庭教育には立ち入ることはできません。しかし、学校は家庭と協力・連携することで教育効果が高まると信じています。

家庭からの要望等も真摯に受け止め、対応できる部分を吟味しています。しかし、学校には、できることとできないことがあることも事実です。

互いの立場を尊重しながら、「こどもまんなか」で考えることが、学校と家庭の連携の柱になると考えています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

